



第2号

緑の党 Greens Japan 静岡 代表 まつや清  
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号  
静岡市役所本館2階 TEL:054-254-2111(#4581)

9月議会では、市立病院の運営形態や第三次総合計画に向けたアセットメントの独自組織が設置(6月議会でもつや質問)されること等、田辺市政の重要施策が明らかになりました。また、2012年度決算では「アベノミクス」＝大胆な財政出動により、「借金前提」の溢れんばかりの交付金・助成金が予算化されていました。

決算討論では、参議院選挙において自民党の「一強多弱」の国政となったことで「原発推進・リニア新幹線・2020年東京オリンピック」と50年前の高度成長が可能であるかのような「借金前提」の財政運営に危惧(その影で秘密保全法や集団的自衛権＝解釈改憲)を指摘しました。尚、高鳥副市長が健康上の理由で退任され小長谷重之総務局長が議会で承認されました。

※日々の活動はブログ「まつや清の日記」で <http://blog.goo.ne.jp/matsuya-kiyoshi/>



## 市立病院 地方独立行政法人化へ 病院局のパブコメに応募しよう！勉強会を呼びかけます。

静岡市は、2010年7月から12月にかけて市立病院経営形態最適化検討会を開催し、2011年3月市立病院の経営形態を公営企業法の一部適用から全部適用に転換することを決め、4月から翌年3月まで移行準備に入りましたが、2012年4月に突然全部適用の決定を白紙に戻し、今年8月まで経営形態を検討して来た結果、地方独立行政法人への転換を決定し、9月議会厚生委員会(10/1)で独立行政法人化決定への経過報告がありました。

内容は10月～11月にかけて市民からパブリックコメントを募集し、12月には最終決定し、1月の記者会見で結果を発表するとのこと。厚生委員会では、工程の報告のみで質疑は、まつやが45分間、転換の経過、理由、メリットの中身、先行病院の課題などを問いただきましたが、十分な答弁もないまま打ち切られてしまいました。

病院局の説明では、地方独立行政法人化とは、簡単に言えば、「市立病院の医師や看護師、技術者の皆さんが公務員から民間職員になる。」ということで、メリットは、「必要な診療科の医師の確保が議会決定を受けずにできるため、医療サービスが的確に提供できる。」ということです。更に、「民間になるとしても5年間の中期目標、公的病院の役割や目標を静岡市が定め、毎年、第三者機関が運営をチェックするのでこれまでそれほど変わらない。」と説明しています。静岡病院は、2014年、15年の移行期間を経て16年に独立行政法人化、清水病院は累積赤字を解消した後2018年以降に転換します。これまでのような議会のチェックは遠のいてしまいます。

第4回ランチトーク(10/18)で、このテーマを扱い市民の皆さんに資料提供しましたが、専門用語もたくさんあり理解することが難しかったというのが実情でした。病院の労働組合は独法化に反対を表明しています。私は全部適用でも医療サービスのレベルアップや効率的な経営、中核病院としての役割は果たせると考えています。今後、小さな勉強会を呼びかけたいと思っています。

## “青葉公園自転車駐輪場の社会実験” 12月～1月を予定

田辺市長は「世界水準の自転車都市・静岡」を掲げています。まつや清は今年の9月議会、今年3月議会と連続して自転車について取り上げてきました。

**まつや質問** 青葉駐輪場の社会実験など2766万の自転車関連予算の目的と内容は。

**都市局長** 目的は、放置自転車の減少と回遊性のある「歩いて楽しい街づくり」をめざし、12月と1月の2ヶ月に24時間稼働の駐輪場の照明設備を整備し、自転車の修理スペースや軽食販売を付帯しイメージアップを図る。合わせてアンケートや放置自転車台数調査を行う。

**まつや質問** 当初市長が掲げた縦割り組織の弊害克服をめざす庁内横断構想はどうなっているのか。その後どのような検討がなされているのか。

**副市長、都市局長** 5月に自転車施策に関係する11局20課による「庁内検討連絡会」を設置した。「ハードインフラ」、「ソフトインフラ」、「マインドインフラ」の3分科会を設け自転車利用に関する総合計画策定し「世界水準の自転車都市」を第三次総合計画に位置づける予定である。

## 緊急講演会！「スノーデン事件と秘密保全法」

安倍政権が押し進める安全保障会議設置法と特定秘密保護法。アメリカで明らかになったCIAが各国首脳の電話盗聴やインターネット情報収集。テロ対策のために個人、政府が監視される時代。この法律の問題について考えます。

日時：11月16日(土) 18:30～20:30

場所：アイセル21(31会議室) 資料代500円

講師：臺宏士氏(だい・ひろし) / 毎日新聞記者

※予約不要



10/19 静岡109前  
特定秘密保護法 反対行動  
(山本太郎参議院議員とまつや)

■ 議会資料等は静岡市議会緑の党まで  
☎054-254-2111 (内線4581)

### 11月-12月定例会 会議スケジュール

11/29、 12/2、12/3	本会議 総括質問第1日目～3日目
12/9(月)	総務委員会、上下水道教育委員会、生活文化環境委員会
12/10(火)	厚生委員会、経済消防委員会、都市建設委員会
12/13(金)	本会議(議案上程、委員長報告、質疑、討議、表決)

### まつや清プロフィール

1951年新潟県柏崎市生れ 静岡大学工学部中退  
1987年、静岡市議会議員(3期)、静岡県議会議員(1期)、国会議員政策秘書を経て2009年より静岡市議会議員(2期目)。  
福島子ども支援基金代表、親子わくわくピクニック実行委員会共同代表(福島の子どものための保養ツアー)、浜岡原発止めます本訴の会共同代表外国人のための無料健康相談と検診会実行委員会事務局次長、城北町内会顧問、和太鼓サークル「座・鼓竜」会員、緑の党全国協議会委員・運営委員



発行 静岡市議会 緑の党 Greens Japan

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 静岡市役所本館2階  
☎054-254-2111 (内線 4581) FAX 054-260-5552

代表 まつや清

**9月議会 まつや清 総括質問 (6/25) “静岡市でも起きている児童虐待死 対策は？”**

今年6月にNHK「クローズアップ現代」で「虐待死で発見された小学1年生の女子児童(4月横浜市)」を含めた居所不明の976名の小中学生を扱った番組が放映されました。静岡市の児童相談件数は5年間に1153件から1892件に、そのうち虐待相談は183件から362件と2倍に増えています。政令市以降10年目を迎える静岡市の児童相談所では3件の虐待死事例を経験しています。「命の大切さ」という原点に立って、虐待死の事例を捉え返すことから質問しました。尚、静岡市にも行方不明の生徒が一人います。

**まつや質問** 2013年3月田辺市長に検証委員会(佐々木光郎英和大学教授)から、検証対象案件について「防ぐことが可能であった」との報告が出ているがどのように対処されるのか。

**子ども未来局長** ケースワークの適切な実施、関係機関の連携、人材の育成など3点の提言を受けた。現在、運営マニュアルを策定し指摘への対応を検討・実施している。関係機関、医療機関、教育機関、警察等と協議し今年度末に検証委員会に報告する。

**まつや質問** NHKの報道についてどのように受け止めたか。

**子ども未来局長** 深刻な問題であると承知している。

**まつや質問** 10年目を迎える児童相談所の人員確保、人材育成、外部人材の体制はどうなっているか。

**子ども未来局長** 其々に十分な体制が作られている。

2010年12月26日 静岡新聞

※2009年4月以降、厚生労働省は虐待死など防ぐことができなかった重要ケースを第三者委員会で検証することを定めた。本市でも2011年3月に児童虐待死2件と無理心中1件、2013年3月に警察が逮捕した虐待ケース1件について市長に報告が出されています。

**長男虐待の父に有罪**

静岡地裁「刑事責任軽くない」

自宅で長男(当時20)「犯行内容を認め、反省」句 静岡市駿河区の母を虐待したとして傷害「して」と述べた。で長男の頭に暴行を加え1カ月のけがをさせた罪に問われた父親で焼

判決は「長男の頭に暴行を加え1カ月のけがをさせた」

**厚生委員会(病院局) 9/30 国保 大幅料金改定で46億円も余剰**

2012年度余剰金46億円の内訳(億円)

昨年、国保事業会計において17.5%増額14億円という大幅な料金改定が行われ、政令市で2番目に高い保険料となり46億円もの余剰財政がうまれました。そのうち基金は41億円。昨年3月の料金改定では、住民団体や自営業者団体から保険料の引き下げ陳情がありました。年金保険課は、「基金は最低でも保険給付費の1ヶ月分=40億円はプールしておく必要がある」とし、引下げ要望には応じられないと委員会答弁。しかし、政府は基金のモデルとして3年間の保険給付費の5%、28億~29億円を示しています。大幅な料金改定でこれだけ財政の余裕が出ているのであれば料金引き下げも検討対象となるべきではないでしょうか。

前期高齢者交付金関連	12.8	
保険料増収分	8	※1
給付費の鈍化	13	※2
前年度繰越金	5	
その他	2	
予備費	5	

※1 保険料値上げで徴収率が86%減少と想定したが例年並みの89%だった。  
※2 インフルエンザ等の流行がなかったため

**高齢者地域支え合い体制づくり事業費補助金事業者 「エコハウスしずおか」等に 決定!**

「リユース運動」を展開する「ゴミゼロフェスタ」の運営を担ってきた竜南地域のリサイクルショップ・エコハウスしずおか(鳥居千春代表)が、9月補正予算において静岡市「高齢者支えあい体制づくり」の補助金事業者に決定されました。新しい公共を目指す地域コミュニティ再建に大きな貢献が生まれることを期待しています。

**自治体議員政策情報センター 10/10**

自治体議員政策情報センター(代表幹事 まつや清)主催による「国一地方」政策研究会が10月10日参議院会館で開催されました。今回の国会窓口は玉城デニー衆議院議員。テーマは、子ども子育て支援事業計画、女性の就労、インターネット選挙。毎回のことですが、とても勉強になります。玉城議員の沖縄の歴史に関するお話はとても刺激を受けました。



**議会研修会 市人口減に危機意識を 10/18**

法政大学大学院静岡サテライトキャンパス(ペガサート校)の坂本光司教授(キャンパス長)を講師に、議会研修会が開催されました。テーマは、「47都道府県及び県内35市町の過去10年間の成長力調査」(坂本教授調査)を基に、静岡市の現状評価。手厳しい中身でした。静岡市の第三次総合計画を議会としてどう提案していけるのか、市長任せにしないで、議会から情報発信と問題提起が必要だと痛感しました。資料入手希望の方はお問合せください。(054-254-2111 内線4561) ランチトークのテーマにしていく予定です。

